

財団法人神奈川科学技術アカデミーの機関評価結果

財団法人神奈川科学技術アカデミー（KAST、理事長：長倉三郎）は、運営全般について外部専門家等から評価を受けるため機関評価を実施しました。このたび、評価結果がとりまとめられましたので、概要と評価書等についてお知らせします。

今後、この評価結果を受けて、具体的な対応の方向性の検討・実施を図り、KASTのさらなる活性化及び運営改善に役立てていきたいと考えています。

【機関評価の経過等】

平成14年8月3日及び4日に機関評価委員会（委員長：井口洋夫 / 宇宙開発事業団宇宙環境利用研究システム長、東京大学名誉教授）が開催され、11月20日に評価委員会評価書が提出される。

機関評価の対象は、KASTの基本的な運営方針と管理運営、研究事業、教育事業及び学术交流事業など運営全般

評価書の提言に対する対応の方向性は、来年3月ごろに公表する予定

【総合的評価・意見】

財団の設立自体が創造的な試みであったが、設立後13年を経過し、他の機関には見られない大きな成果を産みだしており、その業績は高く評価できる。

厳しい財政状況の中で、地域における科学技術の振興のため、財団を着実かつ継続的に支援してきた神奈川県姿勢を大いに評価するとともに、これからも支援を強く期待したい。

今までの努力が結実するのはこれからであり、今後の舵取りが極めて重要となり、更なる努力を期待する。